

『平成30年度 第2回 エヌ・シィ・ティ放送番組審議会』議事録

日時：平成31年3月5日（火）10:30～13:00

場所：株式会社エヌ・シィ・ティ本社3F 大会議室

1、開会の挨拶

株式会社エヌ・シィ・ティ 代表取締役社長 今泉道雄

年度末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

NCTの下期を振り返りますと、サービスエリア内で回線の光化を積極的に進めるとともに、10月には新たに小千谷地区をエリアに加えサービスを開始したところです。さらに、これまでのドコモ、auとの連携に加え、ソフトバンクとも連携を開始し、携帯大手3社と連携した割引サービスを実現することができました。

こうした取り組みの結果、本年一月の総接続世帯数は5万世帯、放送サービスに限っても4万2千世帯と、大幅に加入者を伸ばすことができました。

また、加入者が増えていく中で、視聴者により楽しんでいただける番組を提供すべく様々な取り組みを行っております。例としては、アルビBBのアオーレ戦生中継を昨年12月から開始したほか、アクトオンTVと共同で「快汗！自転車ライフ」の制作を行い、全国へ番組を配信致しました。

また、皆さまから高い評価をいただいている道路情報カメラについては、積極的に増設を進め、現在26台が稼働している状況です。

来年度から新たに燕地域へのエリア拡大をすべく準備をしているところであります。さらに増加するお客様のためにも、皆様に喜んでもらえる、地域に貢献していける事業をより一層進めることが必要だと考えています。今まで以上にNCTに加入して良かったと思っただけのような番組制作、事業遂行に努めていきたいと考えております。今日は来年度の編成方針もお示しさせていただきますが、どうしたら地域に役立つのかという観点でご審議くださいますよう宜しくお願いいたします。

2、番組審議委員長の挨拶

エヌ・シィ・ティ放送番組審議会委員長 長尾 弘 様

前回の番組審議会から数か月しか経っていない中で、NCTがこれだけの新しいことに取り組まれているのは素晴らしいことだと思います。そして開局から30年間の進化に驚かされています。

今日この会場に入った時、複数の撮影機材が並んでおり驚きましたが、新しい機材を取

り入れながら新しい番組制作に取り組まれているのだということを感じました。

また、アルビBBの中継に関しては、前回の審議会の際には、中継の実現にはいくつか課題があると聞いていましたが、あっという間に実現し実績をあげていることに敬服したいと思います。

この番組審議会が地域に役立つ事業に寄与することができれば嬉しく思っております。

3、出席状況確認、番組審議会開催概要について

事務局 東條 真一

4、報告事項 放送番組について

エヌ・シィ・ティ地域情報部次長 野本隆行

5、審議

◎番組に関する意見交換

(1) 新潟アルビレックスBB公式試合中継

- ・自宅で見れていた。試合会場では見たことがないが、行ってみたいという人たちの掘り起こしになる。放映権が難しかったのではないかな？
⇒ソフトバンクが権利を持っており映像はソフトバンクから貰っている。
NCTは試合直前に「ほっと11」で現場レポートを入れて中継につないでいる。
- ・放映権は高いと思うが継続してほしい。スポーツの交流人口が増えることで地域が盛り上がり、経済効果が期待できる。地域経済を活性化するためにもスポーツで盛り上げていきたい。
- ・今シーズンは調子がよく観客数が伸びている。今後、チケット入手困難になったとき、TV中継により期待が高まると思う。選手たちは小学校での授業など地域活動を積極的に行っている。選手を番組ゲストに起用するなど活用してはどうか。
⇒中継だけでなく、チーム全体を応援する取り組みもしていきたい。
- ・市民に影響があればいい。コメンテーターのクオリティも大事だと思うがどうか。
⇒専門的な用語も時にはあるが、概ね良いと思う。
- ・マイナーなスポーツも取り上げて紹介してほしい。
⇒NCTスポーツで月一本、スポーツ番組を制作している。いろんなジャンルのスポーツを取り上げていきたい。

(2) アクトオンTV「快汗！自転車ライフ」制作・放送

- ・あたらしい機材を使った今までにない映像が使われているのが番組から感じられた。映像で興味を惹かれて見た人も多いのではないかな。今回の制作経験は今後の糧になると感じた。
- ・学生もOSUMOやGoPro、ドローンを使って映像を作っている。番組は面白かった。
- ・車での移動とは違った自転車移動の時間の流れも良かった。
自転車の目線での演出、自転車の良さを伝える工夫があっても良かったと思う。
- ・天気が悪くて残念だった。収録の候補日を複数とっておけなかったのか。
⇒タレント起用の関係で撮影予備日の設定はできなかった。
- ・ゆるいジャンル番組は何となく見れるので良い。信濃川のドローン映像は美しかった。自転車で行ける距離感、行ってみたいと思わせる番組だった。
- ・まったりと人と人のふれあいを見せる番組は楽しく、旅番組は人気があると感じた。最近、自転車人口も多いと感じている。経験を活かして同様の番組の制作を期待している。

(3) 本成寺節分鬼おどりで市民リポーターの活用

- ・以前、他の放送局が高校野球の番組で市民リポーターを起用していたことがあった。非常にいい取り組みだと思う。
プロだけでなく、今後も市民を活用した番組制作をしてほしい。
- ・発掘するのが大変だと思うが非常に良かった。
- ・生中継だと間のび感があるが、その分映像のいろんなところに目が行く。
市民・地元の人が番組に関わるのは非常に良いこと。今後も様々な番組で起用してほしい。
- ・市民レポーターしか知らない情報を話してもらうなど、クローズアップしても良かったと思う。生中継のコメンテーター的だった。
- ・渡辺リポーターの印象もよかったが、「すごい」「ほんとに」の言葉が多いと思った。
- ・メインステージにカメラがもう一台あっても良かったと思う。
⇒もう一台予定していたが、当日、客席中央に現職の県議会議員がいた。県議会議員選挙前のためカメラワークが制限された。
- ・鬼が泣いている子供を脇に抱えて動き回っていたが、幼い子供を泣かせることに意味があるのか？昨今のメディアの映像は過剰な演出を感じることもある。
- ・撮る方も慎重にとらえるべき。子供がトラウマになるのでは。映像として積極的に取り上げるのはどうかと思う。
- ・我が家は節分の豆まきでお面の鬼でも泣いていた。悪いことしてないのに泣かき

れるということを積極的に映像として使うのはどうかと思う。

⇒皆さんの意見を聞いて、今後は子供に与える影響まで考慮して映像をとらえるべきと感じている。

(4) その他

- ・新番組「ノーカット」に期待します。作られた映像を見るのが常だが、編集が入らない映像も大事にしていきたい。
- ・エリアが広がって、それぞれの番組内容が薄くなる懸念をしていたが、新しく始まる地域番組に期待する。
- ・NCTスポーツのサッカーの回で知っている子供がでていた。親にとってはうれしいことであり、ケーブルテレビでないと制作できない番組。
- ・土曜の朝は全国放送の番組がつまらないのでローカル番組があれば見る。地元民放との番組時間が重ならないように放送時間は意識したほうがいい。
- ・新番組でFMながおかとの連携の紹介があった。メディアミックス、相互利用を図って地域情報を発信してほしい。
- ・最近の若者はTVを見ていないのがTV局の課題だと思う。これからのメディアの方向性に注目したい。
⇒スマホ用アプリのNCTコネクでニュース等の番組を見ることができるよう準備しているので期待して欲しい。

6、閉会挨拶

エヌ・シー・ティ常務取締役 若月栄弥

冒頭、長尾委員長からNCTの進化に驚かされたというお言葉を頂きましたが、毎回、この審議会でもいただいたご意見にどう応えていくかというチャレンジの成果だと感じています。

生中継コンテンツではない「自転車ライフ」は、ザッピングで視聴者の目に留まる理由があったのではないかと考えます。それは、新しい機材等を用いることで新しい視点の映像を届けられたことも視聴者に響いた理由の一つだと思います。

鬼おどりは泣いている子供の捉え方についてご指摘いただきました。三条エリアは開局以来、悪戦苦闘しながら加入獲得、番組制作に取り組んで来ました。三条の大きな中継コンテンツはいずれも歴史が古く、話題も特徴的です。ケーブルテレビの番組は、地域のマイナーな話題の掘り起しと地域活性化ではないかと私は考えています。

そういう意味では、アルビBB中継も一つのチャンスであり、行政が力を入れている分野に対してNCTも一緒になって取り組むことで地域活性化を実現できるかもしれないと

いう思いも込め中継を行っています。

今日は4月からの新しい番組編成についてご説明、ご審議いただきましたが、その成果は次回ご意見をいただきたいと思います。本日はありがとうございました。

以上